

地域の支え合いについて 考えるきっかけに

1月23日、「みらい」文化ホールで「地域の支え合いフォーラム」が開催されました。

公益財団法人さわやか福祉財団理事長の清水肇子さんの講演では、高齢者が住み慣れた地域で最後まで暮らし続けるためには地域での支え合い、助け合いが不可欠であるとの説明がありました。

また、パネルディスカッションでは、日頃活動を行っている方々が登壇。日頃の実践報告と意見交換がされ、来場者はこれからの支え合い、助け合いのあり方について、改めて考えることができたようです。



笑顔で見送るサケの旅立ち

2月14日、利根大堰下流で、(独)水資源機構利根導水総合事業所と市の共催でサケ稚魚放流会が開催されました。

今年は太田東小の4年生13人の児童が、放流前に河川敷に落ちているビニールや空き缶を拾うなどの清掃活動をした後、紙コップに入ったサケの稚魚を利根川に優しく放流。子供たちは「たくさん戻ってきてね」と笑顔で稚魚の旅立ちを見送っていました。



思い切り手を伸ばして福を掴む

2月3日、行田八幡神社で毎年恒例の節分祭が行われました。

今年は進修館高校の吹奏楽部やダンス部、空手部の生徒たちがパフォーマンスを披露し、会場を沸かせました。またメインイベントである豆まきでは、袴を着た年男・年女が「鬼は外！福は内！」の掛け声とともに勢いよく豆を撒き、来場者は福をつかもうと思い切り手を伸ばし受け取っていました。



よりよい街づくりに向けた政策を発表

2月2日、「女性からの政策提言講座」の成果発表がVIVAぎょうだで行われました。

これは県主催の催しで全3回の講座やワークショップを通じて自分たちなりの政策をまとめるというもの。参加者は3つのグループに分かれ、それぞれアンケートの実施や話し合いを通じて政策案を深めてきました。発表会では高齢者向けの食事会や女性の自治会参加などを提案。よりよい街づくりに向け、自ら動くことの大切さを再認識しました。



「陸王」がつないだ新たな交流

1月19日、TBSテレビ日曜劇場「陸王」のロケ地の1つで、2万人を超えるエキストラが集まり「豊橋国際マラソン選手権大会」のシーンが撮影された、愛知県豊橋市の佐原光一市長が本市を訪問しました。

佐原豊橋市長は忍城址や水城公園などドラマのロケ地を視察した他、「観光情報館ぶらっとぎょうだ」では、撮影で使われた小道具などの展示を見学しました。「陸王」という一つの作品をきっかけにつながった両市。今後もさまざまな機会を通して交流を深めていくことが期待されます。



オリジナル反射材づくりで学ぶ 交通安全

2月7日、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と協定締結した地方創生セミナーを活用した交通安全教室が、長野保育園で開催されました。

この教室には年長児が参加。交通安全講話を受けた後、ハートやTシャツの形をした白いストラップ反射材に、カラーの油性ペンで思い思いの絵や文字を書き入れました。子供たちは、暗い所でピカピカと光る反射材を手にし、完成を喜んでいました。

力作が一堂に

2月9日から12日まで、「行田グリーンアリーナ」サブアリーナで第20回記念公募行田市美術展が開催されました。

今回の美術展には絵画(彫刻を含む)・工芸・書・写真の4部門に全331点が出品。会場では多くの美術ファンがずらりと並んだ力作を鑑賞し、穏やかな時間を過ごしていました。





オーダーメイドの家具を手掛ける 一流の家具職人に

山口 智大さん (白川戸・21歳)

満23歳以下の青年が技を競う技能五輪大会。昨年11月に栃木県で開かれた第55回技能五輪全国大会で、「家具」の職種で優勝したのが、今月紹介する山口智大さんです。

幼い頃から工作が好きで、将来は大工になることを夢見ていた山口さんは、小学生の頃から、ものづくり大学で行われる文化祭「碧蓮祭」に毎年のように遊びに行っていたそうです。その後、実技授業の多い同大学への進学を決意。現在は技能工学部建設学科の3年生です。大学1年生の時、力試しのつもりで、企業などに就業していない20歳以下を対象とした「若年者ものづくり競技大会」に木製品を作る「木材加工」の職種で出場し、銀メダルを獲得。家具製作のおもしろさに目覚めた山口さんは、結果が残せたときの達成感をまた味わいたいという思いから、今度は技能五輪を目指します。



2年生の時に初めて出場し銀メダルに、そして今回の大会で金メダルに輝きました。

山口さんが優勝した「家具」という職種は、事前に発表された図面をもとに、かんやのこぎりなどの手工具やさまざまな木工機械を用いて木材を加工し、腰の高さほどの大きさのキャビネットを作り上げるものです。競技は2日間にわたり、時間は11時間30分に及びます。しかも、課題の内容が当日になって一部変更されるなど、臨機応変な対応が求められるそうです。「技術を高めるには、日々の積み重ねが大切なので、とにかく練習しました。さらに、決められた時間の中で効率的な段取りを研究しました。出場する選手が同じ機械を使用するため、自分の好きなタイミングで使えないという状況でも慌てることのないよう、制限時間ひたたりではなく、少し余裕をるように作業工程を考えました」と大会を振り返ります。

山口さんは「来年度も技能五輪に出場し、納得のいく作品を作り連覇を狙いたい」と意欲を見せます。そして「将来はオーダーメイドの椅子、机、箱物などいろいろなタイプの家具を作りたい。そのためには、まずは製品になるレベルの家具を作れるような技術を身につけたいです」とこれからの意気込みを語る山口さん。ものづくりが大好きで大工も夢見た少年は今、便利さと心地よさを提供する一流の家具職人を目指し、まい進します。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|----------------|-----------|----------------|------------|
| 俳句 | 荒木 藤田 栄之 | 山黙し動くともなし鱗雲 | 持田 丸山 麟一 |
| 空つ風東夷も老いにけり | 棚田町 春田 枕流 | 城南 橋本千枝子 | |
| 渡船場へ寄せるさざ波春立ちぬ | 須加 原 智郁子 | 古傷のなかなか癒えず春を待つ | 富士見町 鈴木スイ子 |
| 箱根路に賭ける青春初御空 | 樋上 吉澤とし子 | 背を丸め歳時記を繰る春炬燵 | 荒木 手島 一海 |
| 雪晴れや果物一つ餌台に | 西新町 青木 泰山 | 梅三分修行僧みな初々し | 持田 岡本千寿子 |
| 深雪晴釣り師の竿のしなりけり | 矢場 高田みつ子 | 行く先は手術室なり春かなし | 持田 鈴木千寿子 |
| 冬ざれや片腕欠けし辻地蔵 | 富士見町 森 節子 | 湯けむりが道しるべなり冬の宿 | 矢場 鈴木かつの |
| 人日の粥ふつつと朝厨 | 南河原 今村 文女 | 孫の手は上句で動く歌留多とり | 持田 小倉 繁三 |
| 寒菊に沈む心の和みけり | 持田 伊藤 洋子 | 太過ぎて妻も余す恵方巻 | 天満 青柳 欣吾 |
| 初孫の振袖眩し成人祭 | 持田 園部 貞雄 | 幼な子の無邪気な笑顔春を待つ | 旭町 大川 恵子 |
| 参列の涙を誘ふ卒業歌 | | 松の枝雪の重みにじつと耐え | 谷郷 柳瀬 久 |

はじめまして

平成29年5月生まれのお子さんを募集します
○3月1日休～31日出に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、4月3日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成29年3月生まれのおともだち ★★★



的場 忍ちゃん(持田)
平成29年3月27日生まれ
父・直人さん 母・智子さん
「笑顔いっぱい
元気に育ってね!」



羽田 帆花ちゃん(城南)
平成29年3月8日生まれ
父・周平さん 母・早子さん
「癒しの笑顔♡
いつまでも大切にね!」



中原 新太ちゃん(栄町)
平成29年3月28日生まれ
父・和久さん 母・淳子さん
「健やかに!!健やかに!!」



秋山 陽翔ちゃん(渡柳)
平成29年3月27日生まれ
父・亨さん 母・裕晶さん
「いっぱい笑って
大きくなつてね!」



春山 蒼ちゃん(長野)
平成29年3月22日生まれ
父・拓哉さん 母・由香さん
「元気にのびのび育つてね!」



森山 璃勇ちゃん(埼玉)
平成29年3月6日生まれ
父・智之さん 母・裕美さん
「生まれてきてくれた事に感謝!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

森田産商株式会社

耐摩耗性に優れたスウェーデン鋼を販売



会社プロフィール
代表取締役社長 森田 泰嘉
【事業内容】普通鋼、特殊鋼の厚鋼板熔断および熱処理、各種機械加工、HARDOXの切断販売および各種機械加工 他
【所在地】野3666—12

森田産商株式会社は昭和40年に森田運送株式会社の溶断部として創業。昭和45年に独立し、現在は普通鋼や特殊鋼の厚鋼板熔断および熱処理、機械加工を行っています。
鉄鋼業界は大量生産が主流ですが、同社は小ロット生産を得意としており、必要量に応じ、素材や耐摩耗部品の提供をしています。また大きさ、厚さ、材質がそれぞれ異なる顧客からの注文に短期間で数多く対応するため、作業の効率化を徹底。素材となる鉄鋼板は一般的にクレーンで移動させますが、同社では機動力のある大型フォークリフトを活用することで移動時間を短縮しています。また、約200種類にもなる鉄鋼板の中から最適な素材を作業所へと運び、精密な熔断寸法と繊細な作業を素早くこなしていく社員たちの豊富な知識と熟練の技術も小ロット生産・短納期を支えています。
そんな同社が扱う幅広い鉄鋼材の中でも特に注目を浴びているのが、国内では同社を含め4社しかない指定工場として取り扱いをしているスウェーデン

ンステイル社の鋼板HARDOX®ハルドックスです。「ハルドックスは耐摩耗性に非常に優れた鋼板で、条件によっては一般の鋼板に比べ12倍もの耐用年数を誇ります。ハルドックスを手持ちのトラックやショベルカーなどの重機に使用することで、耐用年数を延ばすことができ、ランニングコストの削減にもつながるのです」と代表取締役社長の森田泰嘉さんが説明してくれました。さらに、同社では近隣の金属加工会社と協力関係を結び、扱いの難しいハルドックスの部品加工のサポート体制まで完備しているため、安心して購入できると好評を得ています。

今後について森田さんは「協力企業の拡大や自社工場の設備増強を通じてできることを増やし、より幅広くお客さまの要望に応えていきたいです」と話し、東京オリンピック開催に向けて重機の需要が増えているのがチャンスだと意気込みます。この好機を捉え、同社はさらなる飛躍を遂げることでしよう。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

ロータリーフェスタと講演会

▶日時 4月8日(日)午前10時～午後4時(講演は午後1時30分～4時30分)
 ▶場所 産業文化会館および会館前広場
 ▶内容 【講演】
 ・徳川恒孝さん(徳川宗家第18代当主)による特別講演「江戸265年の太平を支えた仕組と心」
 ・福澤克雄さん(TBSテレビ日曜劇場「陸王」監督)による記念講演「陸王の撮影を通して見た行田」
 【フェスタ】
 ご当地グルメ、ご当地物産、「陸王」関連グッズの販売、ステージなど
 ▶参加費 無料
 ▶問い合わせ 行田さくらロータリークラブ ☎564-3000(火・木・金曜日)



桂雀々さん



根本要さん



徳川恒孝さん



福澤克雄さん

イベント

桂雀々独演会 「ほんまもんと、パッチもん」

TBSテレビ日曜劇場「陸王」で埼玉中央銀行行田支店・支店長を演じた桂雀々さんがロケ地で初独演会。ゲストに行田市観光大使の根本要さんを招き、落語とトークと歌が堪能できる夢の一日です。

▶日時 4月1日(日)【昼公演】午後1時30分開演【夜公演】午後5時開演※昼公演・夜公演で演目は異なります。
 ▶場所 「みらい」文化ホール
 ▶出演 桂雀々、【スペシャルゲスト】根本要(スターダスト☆レビュー)
 ▶入場料 昼公演・夜公演 各4,000円(全席指定・税込み)
 ▶チケット取り扱い
 ・JTBリノンツーリスト行田店(持田1080 ベイシア行田店内) ☎555-3180
 ・JTBリノンツーリスト吹上店(鴻巣市袋90-1 アピタ吹上店内) ☎548-5711
 ・チケットぴあ他各プレイガイド
 ▶その他 未就学児童は入場不可
 ▶問い合わせ ときめきチケットセンター ☎03-6300-6510(月～金曜日の午前10時～午後5時)

求められる若者の力

▼日時 3月31日(土)午後5時～9時 ▼場所 ベルヴィアイトピア(持田2792-1) ▼内容 ①木村俊昭さん(元公務員、元内閣官房・内閣府企画官他)による講演「地域創生地域を変える力とは何か?」②行田の新しい夏の魅力を創ろう!!(ワークショップ) ③行田青年会議所のまちづくり ④異業種交流会 ▼定員 65人 ▼参加費 ①②③無料、④1人4千500円 ▼主催 (公社)行田青年会議所 ▼問い合わせ 同会議所事務局 ☎556-4115

行田街かどギャラリー

くまさん ちいさな織道展
 ▼期間 4月26日(木)まで(土・日曜日、祝日を除く) ▼日時 午前9時～午後4時 ▼場所 熊谷商工信用組合行田支店ロビー(天満3-16) ▼内容 鉄道関係コレクション。雑誌や絵本、版画、引き札、すごろく、記念乗車券、時刻表、汽車のおもちゃ、玩具などを展示

夢・宝くじコレクション展

▼期間 4月27日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く) ▼時間 午前9時～午後4時 ▼場所 JR行田駅前郵便局ロビー(志里山町13-2) ▼内容 昭和30年代の初夢くじ、宝くじボスターなど庶民の夢、宝くじのコレクションを展示
 ▼問い合わせ 栗原 ☎090-1535-4460

第2回税に関する絵はがきコンクール作品展

▼期間 3月10日(土)～15日(日) ▼場所 商工センターパブリックホール ▼内容 公益社団法人行田法人会主催の「第2回税に関する絵はがきコンクール」で入選した作品および市内小学6年生の応募作品の展示 ▼問い合わせ ☎554-4535

忍川の「生き物調査」と「忍川美化活動」

▼日時 3月18日(日)午前9時～11時(雨天の場合は19日(月)) ▼集合場所 忍川・谷故橋付近(喫茶店コロラド北側) ▼内容 川の生き物を調べる、美化活動(谷故橋から上下流300

行田春まつり

▼日時 4月15日(日)午前10時～午後5時※今回から、開催日が変更となります。 ▼場所 水城公園周辺 ▼内容 行田大茶会(先着順・茶菓子がなくなり次第終了)、春の植木市、各種催しなど ▼問い合わせ 行田市観光協会(商工観光課内・内線382)

市役所ロビーコンサート

▼日時 3月26日(月)午後0時20分～0時50分 ▼場所 市役所玄関ロビー ▼出演 行田アンサンブル協会 ▼問い合わせ 改革推進室(内線327)

サバイバー茶話会

▼日時 3月15日(日)午前10時～正午 ▼場所 Lunaえんじゅ(持田4-1-10) ▼内容 治療の不安や悩み、医療情報の提供 ▼対象 がん患者、がん体験者 ▼参加無料 ▼主催 NPO法人くまがやピンクリボンの会行田支部 ▼その他 時間内入室自由 ▼問い合わせ ☎080-8908-2108

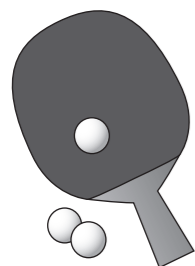
忍川クリーンアップ作戦

▼日時 3月23日(金)午前10時～11時(雨天中止) ▼集合場所 大長寺忍川側あずまや付近 ▼内容 栄橋から旭橋までの600メートルの間のごみを拾い、環境美化活動を行う ▼その他 汚れてもよい服装、長靴、運動靴などでご参加ください。軍手、タオル、ビニール袋を配布します。 ▼問い合わせ 行田市民大学同窓会忍川環境を見守る会小林 ☎080-1095-3764

スポーツ

行田市民卓球大会

春季団体戦
 ▼日時 4月15日(日)午前9時開会 ▼場所 行田グリーンアリーナ ▼種目 団体戦【男子】1部・2部【女子】1部・



2部※男子は4単1複方式で1チーム4人以上(3人でも出場可。ただし、1番のシングルは棄権扱いとする) 女子は2単1複方式で1チーム3人※参加チームが少ない場合は、1部・2部を統合する可能性あり ▼対象 市内在住、在勤、在学で行田市卓球連盟に承認されている方 ▼参加費 男子チーム3千円、女子チーム2千円※連盟未登録チームは1千円増し ▼注意 締め切り後の受け付け不可。当日不参加の場合、参加費の返金不可。大会中に生じた事故などについては、市の保険制度適用範囲を除き、一切の責任を負いません。 ▼問い合わせ 3月28日(水)午後7時までに種目、チーム名、メンバー氏名を明記(様式自由)の上、郵送またはFAXで行田市民卓球大会受付事務局村松(郵送) ☎361-0022 行田市桜町3-17-14 [FAX] 553-2685 ▼問い合わせ 同事務局村松 ☎554-3851

広告

広告

相談

子育て談話室
「たんぽぽ」

▼日時 4月2日(月)午前10時～11時30分 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」 ▼内容 子育て中の親同士で語りあう、子育てワンポイントトーク「手遊び(あやとり)」 ▼対象 市内在住で乳幼児を持つ保護者※父親も歓迎 ▼定員 30人(先着順) ※託児付き ▼参加費 100円 ▼主催 行田市民生委員・児童委員連合会 ▼後援 行田市、行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会 ▼申・圃 4月1日(日)までに電話で同協議会 ☎557-5400

講座・教室・その他

郷土の歴史講座(全3回) 第1回 忍藩松平家の歴史を学ぶ
▼日時 3月24日(土)午後1時30分～3時 ▼場所 商工センター401研修室 ▼講師 松平忠昌さん(忍藩松平家16代当主) ▼講演内容 長篠の戦い、三方領地替え、忍藩の果たした役割など ▼定員 180

硬式テニス教室

▼日時 4月7日(土)～6月16日(土)の毎週土曜日(全8回、予備日2回含む) 午前8時～9時30分 ▼場所 富士見公園庭球場 ▼対象 新小学1～4年生(その他の学年は要相談) ▼定員 20人程度(先着順) ▼参加費 3千円(コート代およびボール代) ※教室初日に徴収 ▼服装 運動しやすい服装 ▼その他 ラケットの貸し出しあり(数本) ▼主管 行田市テニス協会 ▼申・圃 横田 ☎554-8164 (3月26日(月)以降の月～金曜日の午後7時～9時)

献血

▼日時 3月29日(木)午前9時30分～午後4時(午前11時45分～午後1時を除く) ▼場所 産業文化会館 ▼内容 全血献血 ▼持ち物 献血カード(お持ちの方) ▼主催 行田ライオンズクラブ ▼圃 埼玉県赤十字血液センター ☎048-720-8009

人(先着順) ▼参加無料 ▼主催 公益財団法人忍郷友会忍歴史塾 ▼圃 同会事務局 ☎556-9000(火・金曜日の午前10時～午後4時)

陸上運動教室

▼日時 毎月第1・第3日曜日の午前9時～11時 ※第1回は4月8日(日) ▼場所 行田グリーンアリーナ ▼内容 走る跳ぶなどの陸上運動の基本を学ぶ ▼対象 小学生 ▼定員 50人 ▼費用(入会金) 1千円(月額) 500円 ▼主催 行田市陸上競技協会 ▼申 4月8日(日)午前9時～11時に直接行田グリーンアリーナ ▼圃 同協会 奥泉 ☎555-0814

市民公開講座

多くの手術実績をもつ専門医が語る関節痛の治療について
▼日時 3月17日(土)午後2時～4時 ▼場所 商工センターホール ▼内容 仁平高太郎さん(埼玉協同病院整形外科部長)による講演「中期以降の膝・股関節痛についてのお話し」 ▼入場無料 ▼圃 行田協立診療所柴田 ☎556-4581

スプリングコンサート

▼日時 3月18日(日)午後2時開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼内容 クラシックコンサート「アヴェマリア」「ジュピター」「熊蜂の飛行」「映画・ニューシネマパラダイスより」「スーパーマリオブラザーズ」「猫踏んじやったファンタジー」他 ▼出演 行田アンサンブル協会 ▼入場無料 ▼その他 チケットの配布はありません。直接会場へお越しください。

産文絵画教室

▼期日 3月30日、4月13日、5月11日、6月1日、7月6日、8月3日、9月7日、10月5日、11月2日、12月7日、平成31年1月11日、2月1日の金曜日午後1時30分～3時 ▼場所 産業文化会館創作室 ▼内容 水彩・油彩の絵画教室 ▼定員 20人(先着順) ▼参加費 3千円(保険料含む) ※返金不可 ▼申 3月17日(土)の午前9時～午後5時に参加費を添えて同館

(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
…申し込み・問い合わせ…
産業文化会館 TEL.556-6371 FAX.556-6372
商工センター TEL.553-0510 FAX.553-2021
古代連合会館 TEL.559-0770 FAX.559-0784
行田グリーンアリーナ TEL.553-3377 FAX.553-0487
<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

絵画クラブ俊和会「絵画展」

▼日時 3月16日(金)～18日(日) 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで) ▼場所 産業文化会館地下創作室 ▼内容 絵画クラブ俊和会会員の作品の展示 ▼入場無料

さんぶん絵画教室 作品展覧会

▼日時 3月23日(金)～25日(日) 午前9時～午後8時(25日は午後4時まで) ▼場所 商工センターパブリックホール ▼内容 産業文化会館で開催された絵画

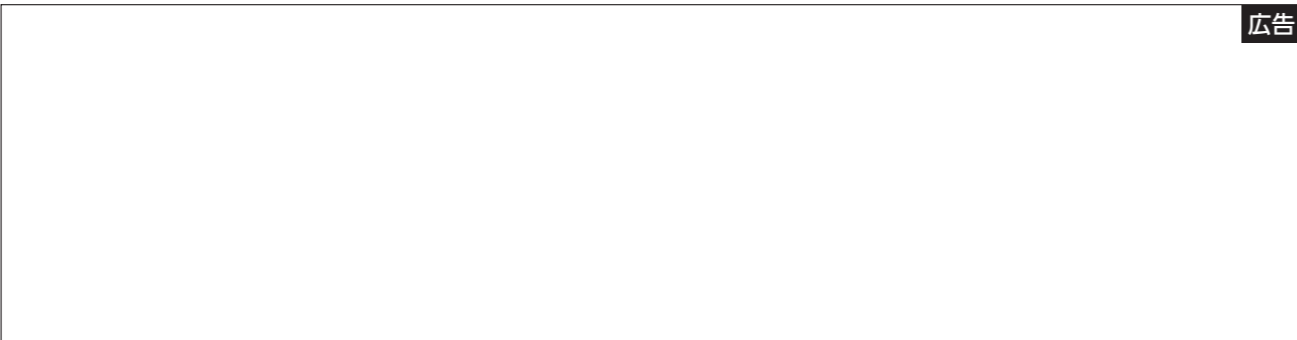
邦楽邦舞のついで

▼日時 3月11日(日)午後1時30分開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼内容 日本舞踊と長唄演奏 ▼演目 「よきたま唄」「むさし風流」「小鍛冶」「さくら」「菊づくし」「手習子」他 ▼出演 西川扇田女、東音会、越智義乃、伝統文化おやこ教室生徒他 ▼入場無料

観光案内所 臨時職員募集

▼勤務時間 午前9時～午後4時 ▼勤務場所 観光案内所(JR行田駅前) ▼勤務内容 観光客への各所案内および施設の清掃など ▼勤務日数 週3～4日程度のローテーション勤務 ▼応募資格 土・日曜日、祝日の勤務が可能な方 ▼募集人数 1人 ▼時給 880円(2カ月間の試用期間有り) ※有給休暇制度あり ▼選考方法 書類審査の上、面接を実施 ▼申 3月18日(日)午後4時までに履歴書(写真貼付)を直接産業文化会館

広告



広告



忍藩士の軍服

個人蔵

武士にとって甲冑は、平安時代後期から江戸時代までその形を変えながらも、主要な防具として機能してきました。しかし、日本が開国し西洋の軍事技術が入ってくると、武器や軍装にも変化がみられるようになりました。

鉄砲は火縄銃から雷管式のゲベル銃、さらには砲身に施錠（ライフル）を切ったエンフィールド銃が導入されました。大砲もモル



腰紐

チール砲（臼砲）やホーイツスル砲（榴弾砲）、カノン砲などが使用されました。これらの武器を運用するために、幕府や諸藩は軍事編成を歩兵や砲兵を主体とする編成へと変えて



忍藩士の軍服

いく必要がありました。軍装も甲冑中心から軽装化が図られ、軍服が導入されていきました。

忍藩でも慶応3年（1867）11月に甲冑を廃止して軍服に改めました。写真の軍服は忍藩士千葉昌胤が着用したもので、現在所在が確認されている唯一の藩士の軍服です。松平家の合印である釘貫紋が入った腰紐もあり、これに刀を差したのでしょう。また、同時に藩の兵制も改革し、重衛隊、親衛隊、表銃隊、新撰隊、聚合隊、聚合隊並、撒兵隊などを設置しました。重衛隊は無役の藩士、親衛隊は藩主の近習たち、表銃隊は馬廻、聚合隊はお目見え以上切米取、聚合隊並はお目見え以下切米取、撒兵隊は主に足軽によって編成されました。

慶応4年（1868）3月11日に新政府軍が忍城下に進軍すると忍藩は恭順の意を表し、以後は新政府軍の一員となり、藩士たちは軍服を着用して北関東や南東北を転戦しました。明治4年（1871）7月に実施された廃藩置県により忍藩の家臣団は解体され、藩の軍事力も消滅しました。残された忍藩の軍服は激動の時代を伝える証人ともいえるでしょう。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

特定非営利活動法人
埼玉介護福祉美容協会・シリウス

つながる ひろがる
みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～⑮



送迎によるシャンプーサービスの様子

高齢者や障害者への訪問理美容事業をはじめ、子どもの健全育成や情報化社会の発展のためのパソコン教室などを主催しているのが「特定非営利活動法人埼玉介護福祉美容協会・シリウス」です。

平成16年に設立され、現在、会員は約30人。訪問理美容事業は、さまざまな理由から自力で理・美容室を訪れることが困難な方々が利用し、店舗への送迎によるものを含め、その数は年間10件に上ります。こうした中、昨年の成人の日には、障害のある新成人が難しいと諦めかけていた晴れ着の着付けも引き受け、本人とその家族からとても喜ばれたそうです。「その時の新成人のうれしそうな表情が忘れられません」と理事長の澁澤高雄さんは優しくほほ笑みます。

また、パソコン教室は近隣の子供たちを対象に、週1回行っており、父兄からとても好評とのこと。今後は、障害のある方にも教室に参加してもらうことで就業へとつなげたり、グループホームの開設も視野に入れたり、トータル的なサポートを目指していくそうです。

そうした活動の一つ一つが、夜空にきらめく恒星シリウスのごとく、これからも光り輝き続けるに違いありません。

【理事長】澁澤 高雄 【電話】556-6882

今月の表紙

2月13日、須加小学校体育館で芸術文化ふれあい事業「箏曲・三絃鑑賞会」が開催されました。

この日は「埼玉県箏曲生田会」の皆さんが同校を訪問し、箏・三絃（三味線）・尺八で「春の海」など4曲を演奏し、楽器の成り立ちや特徴などを説明しました。鑑賞後、演奏者から手ほどきを受けながら箏で「さくら」のフレーズを弾く子供たち。伝統音楽に触れ、貴重な体験ができたようです。

市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。

市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。

市報をダイジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています